

「令和3年度市町村公民館・交流センター事業関係者等会議」事業報告

1 事業名 令和3年度市町村公民館・交流センター事業関係者等会議

2 期 日 令和3年7月14日（水）

3 参加者 18名

4 研修日程

時 程	研 修 内 容
13:40	
14:00	受 付
14:10	開 会 行 事 (主催者挨拶・ガイダンス)
	内容1 実践発表 「自治公民館を拠点とした健康教室」 ～健康長寿のまちをめざして～ 川崎町中央公民館 館 長 坂田 修一 氏
14:40	
14:50	内容2 情報交流 「公民館・交流センターにおける生涯学習の取組について」 筑豊教育事務所 社会教育主事 増山 雄一
15:50	
16:00	閉 会 行 事 (閉会挨拶・諸連絡)

5 活動の実際

内容1

(1) 内容

内容1では、川崎町中央公民館長の坂田 修一氏が、川崎町内の自治公民館にて開催している「健康教室」の取組についての実践発表を行いました。

この健康教室を成功させるための手だては、「各自治公民館にて『人財』を育成し、その育った『人財』を活用していくことで、持続可能な講座を目指している事」「『健康教室』の講座を推進するため、社会教育課だけでなく『高齢者福祉課』や『健康づくり課』等と連携を図り、『課』の垣根を越えた連携を行っている事」の2つでした。この2つの手だてをもとに、地域の「人財」が参画する持続可能な事業とするための運営方法等について、プレゼンテーションソフトを使ってわかりやすく発表をしていただきました。

参加者からは、地域の「人財」を育成し活用することや、課をこえた連携・協働について興味深く学ぶ様子がみられました。

(2) 活動写真



「健康教室」の説明をする坂田館長



メモをとるなど熱心に講話を聴く参加者

(3) 参加者の声

- 他課横断型で予算を含めて垣根を越えた連携を行っていることが参考になりました。
- 複数の課との連携を行うことで、1つの課のみに負担がかからず事業を行っているのは素晴らしいです。
- 中央公民館が中心となり各課と連携を取り、ひとつの事業に取り組んでいる事は素晴らしいと思いました。同じような事業を違う課が行っていたり、どんな事をやっているか把握出来ていなかったりと連携は取れていないのが実状です。役場内でもっと柔軟性を持ち前向きな意見交流の場を設けるべきだと感じました。

内容 2

(1) 内容

内容 2 では、ワールドカフェ方式での情報交換を行いました。内容 1 での坂田館長の実践発表から、話し合いのテーマを、「公民館・交流センター事業での『人財』の育成や活用」と「課を超えた『連携』」の 2 つに設定しました。参加者は現在の担当事業やこれまでの経験等をもとに情報提供したり、逆に他の市町村の公民館や交流センターの特徴ある取組について質問したりする姿が見られました。

(2) 活動写真



「対話」を行うときの心得について学ぶ参加者



情報交換を行う参加者

(3) 参加者の声

- 他の市、町の取り組みが聞けて良かったと思います。公民館を取り巻く地域性も様々のようでした。人との繋がりが薄くなりつつある中で、公民館が軸となって人を引き寄せるような事ができるように努力していきたいと思いました。
- 公民館やホールの申込内容を活用し、他部所での事業との連携が出来るかどうか、検討したいです。
- 情報交流の場をまた設けていただきたいです。もう少し色々な話を聞きたいと思いました。

6 全体をとおして

本会議は、各市町村の公民館・交流センターにおいて生涯学習や地域づくりに関わる行政職員等を対象に、実践発表や情報交換をとおして、地域の「人財」の育成や活用、学校・家庭・地域の連携を意識した生涯学習の事業の実施方法について学ぶものでした。参加者からは「各課の似通った事業を一つにして大がかりで今後も持続可能な事業を行っていることが参考になりました。」「自分が『人財』となり、また『人財』を育成したいです。」

「公民館活動協議会で企画・立案等できることが参考になりました。」「自治体によっては地区公民館と連携して事業を実施しているところがあり、参考になりました。」等の感想がありました。これらの感想からも、本会議は、公民館・交流センター事業に関わる方々にとって、地域住民が参画する地域の社会活動の推進を図る機会となり、非常に有意義なものとなったと考えます。